

## 未入居の申立書

年 月 日

笠松町長

所有者 住所 .....

氏名 .....

このたび、私が新築又は取得した下記の家屋は、現在のところ未入居の状態にありますが、自己の住宅に供するものに相違ありません。

なお、証明書交付後にこの申立書に虚偽があることが判明した場合には、証明を取り消され、法務局から税額の追徴を受けても異議ありません。

### 記

1. 家屋の所在地 笠松町 .....

2. 家屋番号 .....

3. 入居予定年月日 .....年 月 日

4. 現在住んでいる家屋の処分方法等（該当する□にレ点を記入してください）

- 現在の家屋（持ち家）を売却する
- 現在の家屋（持ち家）を賃貸する
- 現在の家屋（借家・社宅・寄宿舍・寮など）の賃貸契約を解除する
- その他（親族が引き続き居住する、親族が所有している等）

※上記処分方法を確認できる書類の添付が必要です。

5. 入居が登記の後になる理由（該当する□にレ点を記入してください）

- 当該家屋の取得（建築）資金を借りるので抵当権の設定を急ぐため
- 本人または家族の傷病等のため
- リフォームに時間を要するため
- 前住人（家主）が未転出のため
- その他（具体的な理由を記入してください）

[ ]